

JANUARY 5, 1919 NO. 6872

Published and distributed under Permit (No. 173) authorized by the Act of Oct. 6, 1917 on file at Post office in San Francisco, Cal. By order of the President, A. S. Burleson, Postmaster General.

# The Japanese American News

號二十七百八十六第 (日) 日五月一年八正大

CAL. STATE LIBRARY,  
SACRAMENTO, CAL.

日本  
米國上院の論戰

排日問題

THE JAPANESE AMERICAN  
PUBLISHED DAILY AT  
650 ELLIS STREET,  
SAN FRANCISCO, CAL.  
PHONE 242-2233  
MONDAYS, TUESDAYS, THURSDAYS,  
K. ABIKO, EDITOR & PROP.  
SUBSCRIPTION RATES  
DAILY.....ONE YEAR .....\$8.00  
DAILY.....SIX MONTHS .....4.00  
DAILY.....ONE MONTH .....75  
SINGLE COPIES .....5 CENTS

BRANCHES  
LOS ANGELES 128 SAN PEDRO ST.  
RACERAMENTO 1414 FOURTH ST.  
FRESNO ..... 949 F ST.  
OAKLAND ..... 710 MADISON ST.  
BAY AREA ..... 545 N. 5TH ST.  
MACHILLE ..... WATSONVILLE ..... P. O. BOX 277  
STOCKTON ..... 110 E. LAFAYETTE ST.  
SALT LAKE ..... P. O. BOX 626  
OGDEN ..... P. O. BOX 423  
BOISE ..... 1850 BROADWAY  
PORTLAND ..... 655 N. 5TH ST.  
SEATTLE ..... 505 MAIN ST.

日本陸軍省は十二月廿七日附以て西比利に在る日本軍隊の中約二千五百人を引揚げ、其軍隊を發表し日本は今後西比利に於ける軍事的必要に對する旨エキス東京通信員は打電し來りたり

西比利遠征軍は相互猜疑一致せず





# 日本近電

(十二月十六日)

終りたる後がかりつゝあるを以て豫

に於ても米價は下落せず益々膨脹。於て此問題に對しては政府の獨り價格に止らず其實收石數の判明するに適ひ消費量が產額を超過したる説明を求むべく又一部原首相の歸京を俟つて政府の確めんと敦勵つゝありて來

# 立木丈で三億圓

▲米の不足  
を調節すべき  
問題となれり

かどる魚類の大問題なれり結局明  
年の出来次第如何にして米を喰は  
ざ國民を餓饉より救出すかと主張  
するが如きは、

帝室御所所有的御料地は宮城、  
宮御用邸等を初め木曾、北濃等  
他全國に亘る山林原野を加ふる  
頗る廣大なる地盤に上るが其に  
付属する山林原野等は、

物價騰貴と財界の膨脹で弊覆  
▲辭職相踵ぐ男教

農業を制限する（三）米の消費量を制限する（四）代用食料を強制する（五）御下駄若しくは摺下式にて下附せられしものも薄からずてに多く減少なし現在臺帳法の外は議論としては立派なるものに出でず然も外米輸入の方に於ては御下駄若しくは摺下式にて下附せられしものも薄からずてに多く減少なし現在臺帳法の外は議論としては立派なるものに出でず然も外米輸入の方に於ては御下駄若しくは摺下式にて下附せられしものも薄からずてに多く減少なし現在臺帳

▲三四年前迄は一教員の欠あると少くとも候補四五人の

山本農相は米價は自然に見合つたるが如きも一體御用意の上、立木地主の評價は土地立木共甚だ高い。以上の一九三九年九月の立木地主の評價は一三九、七〇三、〇〇〇圓である。

時は今迄振向きもしなかつた  
貞を拜み倒して引張つて来る

上既に廢止せらるねり然れども外  
米輸入以外に不足補給の方法なし  
せば其外へ外貨に入し  
の途を取らざるべからず政府の  
此方法を執らん乎山本慶相は前  
物に近き箇所のみにても十九

女教員でよいから三名許り世

▲国民餓饉の境に何んでは農相の面目は問問題のみ政府は最近西貢蘭貢米三十万石の輸入を

(三) 二五七 中里生

あるも成功の見込付かず政府にして爰一箇月以内に確實に不足數量輸入の成算立てば格別ならざる

と、どうも此の宿あたりにゐ  
中とは思はれない、うれで奇異

「これは『能登守は云ひました。今手も其の政務調査會に於ては、物價調査してしまつて、これから風

「否、旅の者でござります  
先程は伯母が上りましてお目に  
致しました」

國民經濟調査を建議し此調査會開かれて以て官民合同して研究せんとを望みたるも現内閣の國民

言つたが、この娘は其の運か  
じく神尾の處へ行く者、さう、  
先程の年上の女が氣を利かし

卷之三

附されたるより避寒を兼ねて庭園の手入れ等のため休憩三十日ナサダナ市に立ち歸へり三四月頃まで滞在する由にて再び前述通り一般觀覽に供すべしといふ

巴市庭園女主人の歸る  
▲ ブツ・シユ・本夫人は米国人、当地觀光の際是非其案内する所場の一つとなり居れるバサナ市内のブツ・シユ氏所有の庭園は米國の歐洲大駿に参加するや間もなく所有者アッシュ・ニコル氏の獨逸人なりてふ理由の許に戰時敵國人取締り規則により遂に政府に沒收され居たるも戦争終結と共に過般再び所有者に返附されたる由は既報の如くなるが同園の持主ミセスリーブラフシエヌはヨーロッパより今は立派に米國に歸化され、米國市民なる立派な妻夫を得其後はセントリースの本邸即ち其生中なりし今同司署の税務課に

好成績を挙げたる上マタンダート、油會社のクレーマーに於ける新油田は南加の歴史上特筆すべき成績にて同時に同會社のクイグナルウード、サンファンド方面に於ける油田の大活躍は他會社の等しく驚嘆せし位にて茲に前記載の如く三十年來始めての新レコードを作れる成績を挙げ得たる次第にして當南加の製油業は他の天產と相待つて南加の富源と稱すべく昨年來の状態にて進歩し行かば南加にて實現されるべき對外貿易に貢献する感大なるべく各實業家勿論商業會議所が發展してとても多大の希望を同業に賜し居れりと

ロスアンセルス (三)  
南加富源と油業  
▲今後の對外貿易に貢献  
當南加に於ける昨年度の油業成績を見るに當地方に三十年前油田を發見せし以來未有のレコードを造りたる由に南加全體に亘る油田の何れも好成績を挙げ得たる事は今後の難題發展及び計畫中の製外貿易に資する材料たるべく南加唯一の富源と云ふべしと今數を以て之れを示さん。  
▲先づ昨年の初め頃は一日五萬五千バレル級の生産高なりしが年末に至り一躍一日七萬九千バレルの高に上り一年間に二萬四千バレルの増収を見るに至りたる由にてもシテベロの油田にて成金を輩出せんが如き又たボーラードワイン丘庄のブルド街油井の如きも例年になき

# ロサンゼルス

の如く開店殊に芝居興行中のものより多くは、地方より多數出羅し居り日本

フレスノ(三日)

熊本安次郎(廣島)  
増村伊三郎(山形)  
雁部庄兵衛(愛知)  
濱田市兵衛(愛媛)  
前山序一(廣島)  
星野忠俊(醫師)

**布市部谷書店**  
922 F St., Fresno, Cal.

羅府ウイルミングトン街一七  
太平洋分館内古澤醫院

故  
綿原ヤス 葬送の際  
は年末御際

送葬禮

熊本縣玉名郡睦合村大字三崎

●神川・氏誠園　神川商店の神川理一氏は来る二十二日出帆の春洋丸にて、時に歸國に確定せりとも寄附したり。

領事館尋人

江本　吉吉(吉之助)　神川・氏誠園  
今井貢(貢之助)　浅見　正男(正太郎)  
小瀬源次(源次郎)　大木　大蔵  
大川秀次(秀次郎)　吉田　新一(新之助)  
吉永佐吉(佐吉)　榎本　義典(義典)  
伊藤知直(知直)　高橋　慶次(慶次)

其に布市の公共事業を助ける事  
は無論不可能なり。何とかして移  
民に英語の普及を圖らざるべから  
ずと鬱憤一翻力を入れ語り終れる  
に對し某外國人の教師は曰く元來  
米國市民には好ましからぬ病もあり  
と喝破し外國人さへ見ればロシア  
ンダツア又はボルキは不潔の國民  
なりと輕蔑し嘲笑するもの多し勿  
論言語の通せざる外國人の労働者  
を見れば下等に見ゆる如きも第一  
之等移民に對する市民が教育方法  
も甚だ不親切極まるて述べて幾多  
の例證を挙げて市當局者の反省を  
促す處あり當日之の會合に於て移民  
の手による提携を決議 従來各國移民  
間に亘り往々行はるる事に付けて  
は既に前回の報告書に於て述べた  
如の新規の制度を採用する事に付  
けられべき事である。

本邦と事務は年末良と本邦と事務は年末良と  
米化運動の着手。▲各國移民聯合の兆。  
先き頃當市に開設せる移民教育の  
研究會席上にて一人の牧師が布市  
の在留する外國人の教會中にて各  
日曜日の説教に英語を用ひるも  
の幾個處あるやとの質問を發した  
る時異口同音に皆無と答へ日曜學  
校の小兒科丈けは全部英語を用ひ  
つゝある旨を附加したるが移民局  
より來たれる地方委員等は首を傾  
げて一考したる後何分五萬と稱せ  
らるゝ人口に於て二萬八千人とい  
ふ多數の人々が自分の家庭に在り  
更に教會にては各日曜日教國の言  
語のみにて説教しめる所以米國  
市民が却つて顧客の如き奇現象  
なりと歎息し断るることにて親  
密の交際も同化も不可能なる故に  
元づ有様

布市ラ  
ライアン活動寫真  
大賣出  
種類  
各色  
コロナ  
ワイン  
エキノ  
ンデル  
シング  
グリーン  
コネク  
木本  
草莓代  
金四弟  
萬  
吉  
旅館開業  
看護婦三  
フレノ  
日本病院  
R. A. Box 231 Burbank, Calif.

精本安次郎(重慶) 濱田在吉(重慶)	猪伊三郎(山形) 増田正兵(山形)
持主御領圖の方の左は、持主御領圖の方の左は、	喜多屋(吉永) 森野(吉永)
ヨウジ、加州(公認) 學士中谷房太	木山筋(吉永) 木山筋(吉永)
羅府東一(元三二七七生帝國ホテル)	田中(吉永) 田中(吉永)
▲電話 六四九二二	平井(吉永) 宮松(吉永)
▲住宅 一四五八	南久右衛門(吉永) 上田(吉永)
肥料 中谷醫院 各種園芸業 在桑港日本總領事館	小池(吉永) 三日山(吉永) 宗次(吉永) 青木(吉永)
▲一般患者ノ診察の依頼に應じて	八田(吉永) 佐々木(吉永) 板上(吉永) 一端(吉永)
ヨウジ、加州(公認) 學士中谷房太	飯田(吉永) 金作(吉永) 稲山(吉永) 木村(吉永)
羅府東一(元三二七七生帝國ホテル)	森山(吉永) 立石(吉永) 村松(吉永) 上村(吉永)
▲電話 六四九二二	佐藤(吉永) 信吉(吉永) 酒井房太郎(吉永) 古瀬(吉永)
▲住宅 一四五八	鶴井(吉永) ふみ山(吉永) 関井(吉永) 手井(吉永) 藤井(吉永) 佐藤(吉永)
活動寫眞場賣	高井(吉永) 桑原(吉永) 高井(吉永) 桑原(吉永) 高井(吉永) 桑原(吉永)

南加日本病院  
須々木醫院  
東第一街  
電話一三五〇五  
自宅二一九一五四  
Phon 15427 605 Turner St., L.A.  
移轉  
羅府自動車學校  
學生大募集  
電話一三〇四  
張擴轉  
L. A. Auto School  
804 E. 9th St., L. A. Cal  
羅府南サンゼンロ街一五半  
隨意  
(電話 壱壹壹一)  
入院  
田中診察所  
115½ S.San Pedro St., L. A. Cal

布市 部谷 書店  
922 E. Ste., Fresno, Cal.  
羅府北サンゼンニード街一一八  
大正ホテル  
電話ホーメー五一六  
羅府齒科醫院  
電話ホーメー一〇七  
高木 梅軒  
Room 15-16, 105 E. First St., LA CITY  
椎名齒科醫院  
105 E. First St., Tel. Hatt. 112-4434  
北サンゼンニード街一一九 A九八〇  
鶴野學士水 島 諸  
京一街一二九半 A四五九一  
信和半七長尾嘉一郎  
東一街二二六半 A九一六〇  
鶴野學士渡邊敬德  
深澤齒科醫院  
330½ E. FIRST ST., Tel. A3376  
羅府日本人會事務所  
府  
羅府東京本店  
OHO  
三三一號  
新宿五丁目五二六

略儀に紙上御挨拶申上候敬口  
十二月二十七日  
夫 藤本 常義  
親戚 松尾卯一郎  
總代 立田 仁市  
友人 一同  
布郡デルレー

御會席被成下且多大の御香料を  
賜り難有奉存し候實は一々參  
室御禮可申取込中乍詰  
儀以紙上御挨拶申候 敬白

故太田一志送葬御禮  
は年未御際  
多忙中多く拘はらず貴々御應  
御厚志の段奉謝候實は一々參  
室御接拶申上べき處時候不順  
夫以紙めだ駆騒ご存じ候へ  
大正七年十二月二十八日  
敬白

熊本縣玉名郡脇合村大字三崎  
故 藤本芳太郎 儀事府本  
頭寺佛教會に於て葬儀執行の  
際は遺香料を頂戴致し難有  
多様御香料を頂戴致し難有  
一々拜謁御供可申上處不取敢  
乍路略紙上にて御厚禮申上候  
大正七年一月卅一日

サクラメント (三)

飛行學校縮小  
サクラメント(三日)  
▲結局廢止の方針か  
當地にて先日本海保運動中なるミルスの陸軍飛行學校は當地方の三十九名の候補生リバーサイドにて本日も百十名の飛行將校除隊される事となりたるが數日後に三百二十日まで約七百名の除隊を目的とするべしとの事故故局廢止せらるるゝと云ふのはあらずや尤も暫くは數名の候補生リバーサイドの一大店の近所に最も小さな商店を起きたるが抑も商店の始まりにて「現金點算無し」の開祖となり、遂に今日のワインスタック。ワイン商会即ちケーの大店を造り、は隠處して伊太利の羅馬に住居となりし處當時流行歌謡たりし處で電報來り爲めに大店は今全く休業して弔意を表してゐることなり

●學生會の新役員 櫻學園學生會  
美以教會に於て去る卅一日の夜會に於て左の如きとなり云々<sup>カ</sup>  
英演說會及び演藝會等あり午前九時頃散會したるが本年度の新役員は左の如く  
井上源一、曾木本一、田尻義典、元文部省官吏、元文部省官吏、元文部省官吏  
石川博、佐藤長、井上源一、元文部省官吏、元文部省官吏、元文部省官吏  
●河下の殺人・黨争 正月早々各報でもない河下のコートランドにて元日の晩六時頃支那町の眞只中で元人の殺人事件ありレオナルド・ダビンチ先生と云ふ先生とサンと稱する先輩頭と胸を撃たれ直ちに倒れる。彼の妻は死したるが犯人は同夜半頃其附近にて捕縛せられたる。原因不明なれども多分桑港邊に騒ぎ居る殺人黨同志の黨争餘波もべしと何れも人心惱れたる。日曜の諸教會は美以教會午後七時半、基督教半ばの西番牙風も全く下火となり先土曜日より更に諸集會を許し学校を閉鎖の儘に相成り教會等も久しぶりにサービスを持たず行なれどクリスマスの祭典は行する能はず故に白人側はノックにて御禮を爲しチャチにては切に爲さざることに決定して淋しき事に成る。

新劇	北米の名優橋尚美好、月岡青木、東雲其他諸優の外に渡米一座を加へ来る正月七日より三月間櫻府帝國ホールにて各々観比べ大車輪にて開演。留一氏に譲渡済御年をもつて各々観比べ大車輪にて開演。
津田信	新劇
▲初日	▲三日目
▲二日	▲四日目
催主	在原狂三
幹事至急入用	執血春の二

九州、自動車による隨時往来  
人會 に開會 らんこ  
公認 沖田 駐醫  
院博士 沖田 延郎  
電話メー...日本六六七アール  
横南二二一四  
電話メー...日本六六六七アール  
横南三三二一番  
電話メー...日本電気  
横南二二一四  
降矢時  
東西  
人會

王府十三街四六七  
電話王府一二二二  
五萬無割引下十五弗產兒金  
電站車五弗電比ードモント  
Oakland Cremation

（電報アーティソン二九一）  
王 府 第十六 西四百〇三  
御醫學士 林 矢次  
（金社）  
故シズカ事  
御禮廣  
河原本山  
故  
御儀執行の際は遂  
に候へ乍具儀以  
奉深謝候  
申上候 敬候  
大正七年十二月  
息 河原臣  
不老林  
大 日士  
不老林  
上候 敬候  
恭存候 乍作  
敬候 依  
紙上  
非儀的節は御多忙  
遠路態々賜を仰り御厚  
莫重  
御會葬被  
處死略儀  
白  
丁日逝去  
葬は重  
代實 次  
行可仕候  
本日午後  
間此段辱  
る六日午  
テラグ  
ン・カツ  
アントニ  
廿歲迄廿  
九月一日  
十萬弗總  
現  
利金體  
九月一日  
福井久太郎  
山幸若  
牙須  
二割引  
ASOCIATION



